

おいしく、北海道らしく。



第76期

# 事業のご報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日



Since 1943  
北海道を基点に  
おいしさにこだわり  
毎日の糧をお届けします。



日糧製パン株式会社



代表取締役会長  
関根 治

代表取締役社長  
吉田 勝彦

### 目 次

2	株主の皆さまへ
4	営業の概況
6	財務諸表（単体）
7	財務諸表（連結）
8	株式情報
9	会社の概要
10	トピックス
12	株主メモ

株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援・ご鞭撻を頂き心より厚く御礼申し上げます。

ここに当社の第76期（平成21年4月1日から平成22年3月31日）における事業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当期におけるわが国の経済環境は、一昨年9月の米国金融危機以降の実体経済の悪化から脱し、一部に景気回復の兆しは見られましたものの、雇用情勢や所得環境は依然として厳しく、個人消費は低調に推移し、デフレ懸念とともに国内景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当業界におきましては、消費者の生活防衛や節約意識が高まりを見せ、低価格志向が続く中で、平成19年から上昇していた主要原材料の小麦粉価格が昨年2度引き下げられたものの、企業間競争の熾烈化によって製品価格の下落が一段と進み、売上高が伸び悩む大変厳しい環境でありました。

このような情勢下におきまして、当社は、変化の激しい市場環境への「適合」と、その実現に向けた企業体質の「変革」をキーワードとした持続的な成長と安定的な収益確保をめざしてまいりました。

なお、当社は平成21年8月3日に山崎製パン株式会社との間で、両社のブランド価値を維持・向上させるとともに、シナジー効果の発揮による企業価値を向上させることを目的とした業務資本提携契約を締結し、製品の品質と売上の向上、食品安全衛生管理体制の整備・強化をはじめとする諸施策についての取り組みを開始しております。

当期の連結業績につきましては、原材料価格の低下や燃料費の圧縮による原価低減が達成されたものの、単価下落が一段と進んだことにより売上が伸び悩むという厳しい情勢で推移したことから、売上高17,498百万円（前期比1.8%減）、経常利益229百万円（同3.1%減）、当期純利益は163百万円（同37.5%増）となりました。

当社は、経営理念として「いつも安心できるおいしさと信頼感で人と環境にやさしい企業」というミッション（果たすべき使命・役割）のもと、「良質なパン・菓子を中心とした食関連事業」を通じて「北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長」をめざすことをビジョンに据えており、市場環境への適合と企業体質の変革を推し進め、安定的な収益の確保、および繰越損失解消を果たすことができるようなお一層注力するとともに、食の安全・安心の確保や環境への配慮など食品企業に求められる役割や使命を果たしていく所存でございます。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

## 経営理念

おいしく、北海道らしく。



### Mission ミッション

(果たすべき使命・役割)

いつも安心できるおいしさと信頼感で人と環境にやさしい企業

### Vision ビジョン

(達成すべき企業像)

北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長

### Domain ドメイン

(事業の領域)

良質なパン・菓子を中心とした食関連事業

## ◆第76期の概況

当期における製品施策といたしましては、原材料価格の値下がりに対する消費者還元策として、主力の食パン「絹艶」をはじめ一部製品の価格改定を実施するとともに、「北海道バターのしっとり食パン」や「十勝しゃっきりコーン」といった北海道産素材を使用した製品の投入、および単品菓子パン「北の国のベーカリー」シリーズや「ラブラブサンド」シリーズのリニューアルをはじめとした品質改善など、消費者にとって価値ある製品開発を推し進め、販売数量の確保に努めてまいりました。また、全国的にいわゆる「スイーツ」への注目度が高まる中、斬新なアイデアによる新製品開発にも積極的に取り組み、平成21年10月に発売した「プリン大福」などが大変ご好評を頂いております。

一方、食品安全衛生管理の強化の観点からAIBフードセーフティに基づく取り組みを引き続き強化

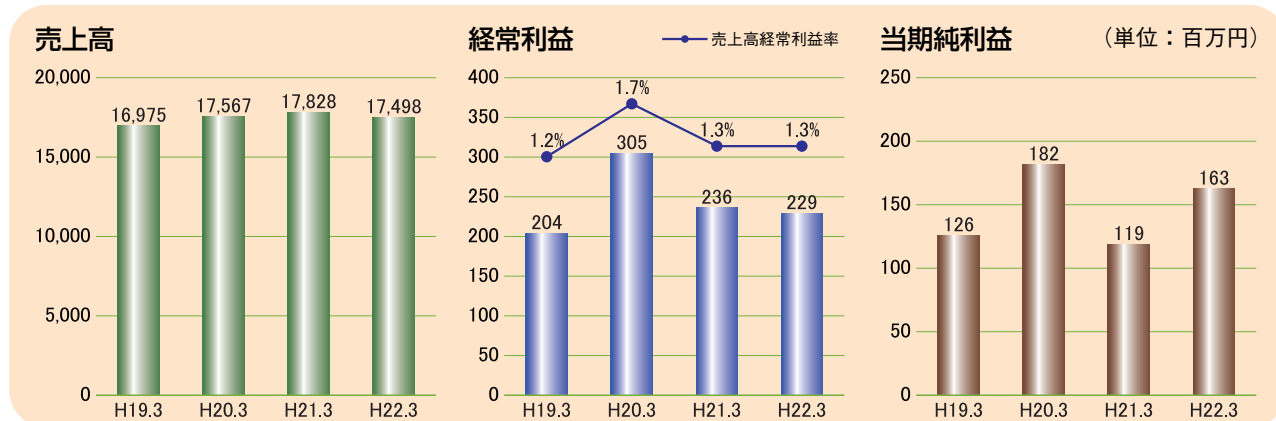
することに加え、ISO 9001の品質マネジメントシステムの認証を取得・更新し、より安全な製品の提供を図るための施策を実施してまいりました。さらに収益改善を目的とする、生産工程上のさまざまなロス低減活動の推進、および全社的な業務改善活動を深化させ、「安全・安心」、「効率化」のキーワードを意識した取り組みを行ってまいりました。

## 第76期連結業績

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

	実績	前期比増減率
売上高	17,498百万円	△ 1.8%
営業利益	265百万円	△ 3.7%
経常利益	229百万円	△ 3.1%
当期純利益	163百万円	37.5%

## ◆連結業績の推移



## ◆部門別売上状況

### ●パン部門 売上高10,615百万円（前期比2.6%減）

当社食パンのトップブランドである「絹艶」は、本格食パンとして安定した品質で変わらないおいしさを提供するとともに、原材料価格の値下がりに対する消費者還元策として価格改定を実施し、販売数量の確保およびブランドの維持向上に注力いたしました。しかし、食パン全体では販売価格の低下が進むとともに、販売数量が伸びず、売上高は前期を下回る結果となりました。

菓子パンにつきましては、「ラブラブサンド」シリーズの積極的な展開のほか、「北の国のベーカリー」シリーズのリニューアル、さらに北海道素材の使用を強く意識した「きたクック」シリーズなどの新製品を投入し、前期を上回りました。その他パン（調理パン類）におきましては、既存製品のリニューアルなどを行いました。パン部門全体といたしましては、前期を下回る結果となりました。

### ●菓子部門 売上高4,849百万円（前期比7.5%増）

和菓子におきましては値ごろ感のある価格の単品製品で数量を伸ばすとともに、新製品「プリン大福」の寄与により売上が伸びました。洋菓子におきましては、スイスロール類およびスナックケーキ類が第2四半期で好調に推移し、菓子部門全体では前期を上回る結果となりました。

### ●米飯部門 売上高1,504百万円（前期比1.2%減）

新たな納入先の開拓やコンビニエンスストア向けの製品開発に注力いたしましたが、前期を下回る結果となりました。

## ◆次期の見通し

今後の見通しといたしましては、景気の改善は一部に見られるものの、先行きに対する不透明感が依然として強く、とりわけ個人消費については生活防衛意識や節約志向が継続し、引き続き低迷することが予想されます。当業界におきましては、消費者の根強い低価格志向や、流通業界を巻き込んだ企業間競争の激化などによって、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

このような情勢下におきまして、当社では、経営理念に掲げる“真の北海道企業”をめざすため、新たに制定した「おいしく、北海道らしく。」のキャッチコピーのもと、北海道原料を使用した製品を積極的に展開するとともに、地域社会への貢献を通じて更なるおいしさと新しいおいしさを追求してまいります。また、市場の変化への迅速な対応を進め、AIBフードセーフティやISO 9001の品質マネジメントシステムに基づく取り組みを強化・徹底し、お客様に支持される安全・安心で価値のある製品とサービスの提供に努めてまいります。

さらに、あらゆる部門の業務について、なお一層の効率化とコストダウンを図るとともに、内部統制環境やコンプライアンス体制の整備、および適切なリスク管理を実施する一方、山崎製パン株式会社との業務資本提携の目的である、製品の品質および売上の向上やブランド価値の維持・向上をはじめとするシナジー効果の早期実現に向け、鋭意取り組んでまいります。

平成23年3月期の業績見通しに関しましては、売上高17,700百万円、営業利益350百万円、経常利益300百万円、当期純利益200百万円を予想しております。

# 財務諸表（単体）

## ■ 貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	期別	第76期	第75期	増 減
		(平成22年3月31日現在)	(平成21年3月31日現在)	
<b>資 産 の 部</b>				
流動資産		3,744,444	4,021,346	△276,902
固定資産		8,679,843	8,626,566	53,277
有形固定資産		7,988,288	7,995,444	△7,156
無形固定資産		80,334	51,832	28,502
投資その他の資産		611,220	579,289	31,931
資産合計		12,424,288	12,647,912	△223,624
<b>負 債 の 部</b>				
流動負債		5,580,461	5,879,014	△298,553
固定負債		4,394,679	4,516,296	△121,617
負債合計		9,975,141	10,395,310	△420,169
<b>純 資 産 の 部</b>				
株主資本		62,253	△101,172	163,425
資本金		1,051,974	1,051,974	—
利益剰余金		△981,821	△1,145,769	163,948
自己株式		△7,899	△7,377	△522
評価・換算差額等		2,386,894	2,353,774	33,120
純資産合計		2,449,147	2,252,602	196,545
負債純資産合計		12,424,288	12,647,912	△223,624

## ■ 損益計算書（要旨）

（単位：千円）

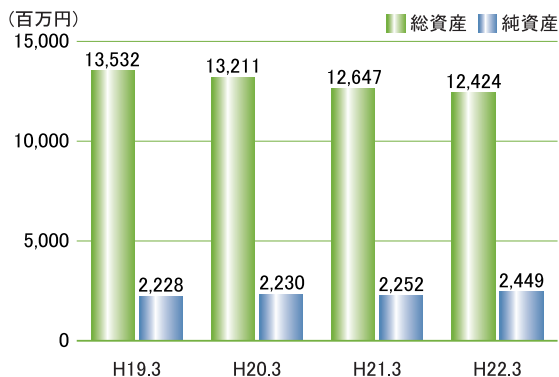
科目	期別	第76期	第75期	増 減
		(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	
売上高		17,501,495	17,831,767	△330,272
売上原価		13,557,255	13,975,204	△417,949
売上総利益		3,944,239	3,856,563	87,676
販売費及び一般管理費		3,724,314	3,594,057	130,257
営業利益		219,924	262,505	△42,581
営業外収益		43,716	64,650	△20,934
営業外費用		73,286	80,654	△7,368
経常利益		190,354	246,501	△56,147
特別利益		117,033	26,464	90,569
特別損失		134,188	113,693	20,495
税引前当期純利益		173,200	159,272	13,928
法人税、住民税及び事業税		13,625	14,285	△660
法人税等調整額		△4,373	25,973	△30,346
当期純利益		163,947	119,014	44,933

## ■ 株主資本等変動計算書（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

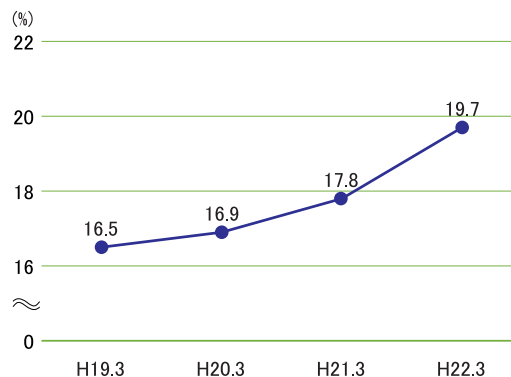
（単位：千円）

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成21年3月31日残高	1,051,974	△1,145,769	△7,377	△101,172	7,958	2,345,816	2,353,774	2,252,602
<b>当期変動額</b>								
当期純利益	—	163,947	—	163,947	—	—	—	163,947
自己株式の取得	—	—	△521	△521	—	—	—	△521
株主資本以外の項目の当期変動額	—	—	—	—	33,119	—	33,119	33,119
当期変動額計	—	163,947	△521	163,425	33,119	—	33,119	196,545
平成22年3月31日残高	1,051,974	△981,821	△7,899	62,253	41,078	2,345,816	2,386,894	2,449,147

## ■ 総資産・純資産



## ■ 自己資本比率



## 財務諸表 (連結)

### ■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	第76期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	第75期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	増 減
売上高		17,498,683	17,828,252	△329,569
売上原価		13,497,823	13,945,233	△447,410
売上総利益		4,000,860	3,883,019	117,841
販売費及び一般管理費		3,735,580	3,607,666	127,914
営業利益		265,280	275,353	△10,073
営業外収益		35,017	41,827	△6,810
営業外費用		70,640	80,295	△9,655
経常利益		229,656	236,884	△7,228
特別利益		77,707	26,464	51,243
特別損失		134,188	103,693	30,495
税金等調整前当期純利益		173,176	159,656	13,520
法人税、住民税及び事業税		13,745	14,439	△694
法人税等調整額		△4,477	26,005	△30,482
当期純利益		163,907	119,212	44,695

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	第76期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	第75期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー		637,781	545,913	91,868
投資活動による キャッシュ・フロー		△493,372	△619,831	126,459
財務活動による キャッシュ・フロー		△91,071	△279,273	188,202
現金及び現金同等物の 増減額		53,336	△353,191	406,527
現金及び現金同等物の 期首残高		1,302,711	1,655,902	△353,191
現金及び現金同等物の 期末残高		1,356,048	1,302,711	53,337

### ■ 財務諸表 (連結) について

当社は、平成22年2月1日付で連結子会社ノースデリカを吸収合併しており、同日付で連結子会社なくなったため、当連結会計年度末の連結貸借対照表および連結株主資本等変動計算書は作成しておりません。なお、連結損益計算書および連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、連結子会社吸収合併までの経営成績の状況を反映して作成しております。

## 株式の状況

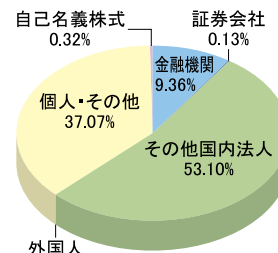
- ① 会社が発行する株式の総数（普通株式） 84,000,000株
- ② 発行済株式の総数（普通株式） 21,039,480株
- ③ 株主数 1,817名  
(うち単元株以上の株主数 1,349名)

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
山崎製パン株式会社	5,982千株	28.44%
日糧取引先持株会	2,239	10.65
日糧従業員持株会	1,266	6.02
株式会社ADEKA	1,052	5.00
株式会社北洋銀行	1,038	4.94

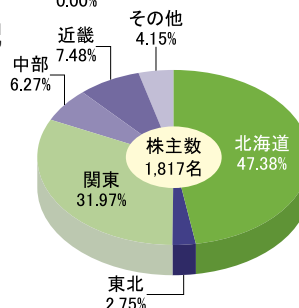
## 所有者別分布状況

- 金融機関 ……………1,971 千株
- 証券会社……………28
- その他国内法人…11,172
- 外国人……………1
- 個人その他……………7,799
- 自己名義株式……………67



## 株主の地域別分布状況

- 北海道……………861名
- 東北……………50
- 関東……………581
- 中部……………114
- 近畿……………136
- その他……………75



## 山崎製パン株式会社との業務資本提携契約および 主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

当社は、平成21年8月3日に山崎製パンとの間で、両社のブランド価値を維持・向上させるとともに、両社の企業価値を向上させる事を目的として、業務資本提携契約を締結いたしました。また、本業務資本提携に伴い、山崎製パンは、同年8月7日に三菱商事株式会社、日清製粉株式会社、オリエンタル酵母工業株式会社および株式会社石川が保有していた当社の普通株式5,982,969株（発行済株式総数の28.44%）を譲り受け、当社の筆頭株主となりました。

業務資本提携の目的を実現するため、両社が共同・協力して、製品の品質・売上向上、物流の効率化、原材料の共同購入、生産設備の改善、改良、更新および効率化の推進、食品安全衛生管理体制

の整備・強化、新素材・新技術の共同研究、生産管理システムの導入等の施策について継続的に協議・検討し、シナジー効果の発揮による企業価値の向上に努めてまいります。

## 山崎製パン株式会社の概要

(平成21年12月31日現在)

(1) 商号	山崎製パン株式会社
(2) 代表者	代表取締役社長 飯島延浩
(3) 本店所在地	東京都千代田区岩本町三丁目10番1号
(4) 設立	昭和23年6月
(5) 資本金	11,014百万円
(6) 事業内容	食パン、菓子パン、和菓子、洋菓子、調理パン・米飯類等の製造および販売ならびにその他仕入れ商品の販売

## 会社の概要

商号	日糧製パン株式会社
本店所在地	札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号
設立	昭和21年5月16日（創業昭和18年）
資本金	1,051百万円
事業内容	パン・菓子等の製造および販売ならびにその他食料品の販売
従業員数	682名（平成22年3月31日現在）

**【本社】** 〒062-8510 札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号 (011)851-8131

### 【工場・事業所】

- ・月寒工場 〒062-8510 札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号 (011)851-8131
- ・琴似工場 〒063-0814 札幌市西区琴似4条7丁目4番7号 (011)611-8231
- ・釧路事業所 〒084-0905 釧路市鳥取南6丁目2番18号 (0154)51-2424
- ・函館事業所 〒041-0812 函館市昭和4丁目23番1号 (0138)41-2385

### 【支店】

- ・旭川支店 〒079-8442 旭川市流通団地2条1丁目11番地6 (0166)48-1123

### 【営業所】

- ・帯広営業所 〒080-2463 帯広市西23条北1丁目5番7号 (0155)37-2215
- ・北見営業所 〒090-0837 北見市中央三輪8丁目16番6号 (0157)66-5226
- ・青森営業所 〒038-0001 青森県青森市新田2丁目32番26号 (017)781-9009

### ■ 取締役・監査役 (平成22年6月29日現在)

代表取締役会長	関根 治
代表取締役社長	吉田 勝彦
取締役副社長	深澤 忠史
専務取締役	吉沢 武治
専務取締役	宮崎 広
取締役	毛利 信作
取締役	北川 由香里
常勤監査役	小山 照幸
監査役	伊東 孝
監査役	塚崎 覺

### ■ 執行役員 (平成22年6月29日現在)

常務執行役員	信田 紀生
執行役員	落合 久仁雄
執行役員	布施 幸秀
執行役員	木戸 博樹
執行役員	栗田 昌直
執行役員	淡路 邦夫
執行役員	木村 秀幸

- (注) 1. 毛利信作氏は、社外取締役であります。  
2. 伊東孝氏、塚崎覺氏は社外監査役であります。

『絹艶』 発売 5 周年&リニューアル！

2005年7月の発売以来、しっとりやわらかな食感と  
香り豊かで深いコク、なめらかな口解けで、  
多くのお客様からご愛顧頂いている『絹艶』を、  
この度、装いも新たにリニューアルしました。  
これまで以上に美味しく進化した『絹艶』を  
ぜひご賞味下さい！



さらにキメ細やかな食感に！

今までの味わいはそのままに、  
生地を増量しました。ボリューム  
がアップしたことで、これ  
まで以上に“しっとりやわら  
か”かつ“キメ細やか”な食  
感となり、さらにおいしくな  
りました。



食品表示を読みやすく変更しました

お客様にとって大切な情報  
を、今まで以上にわかりや  
すくお伝えするために、商  
品に含まれるアレルギー物  
質の表示を拡大するなど、  
食品表示の記載内容を変更  
しました。



本品には以下のアレルギー物質  
を含む原材料を使用しています。

小麦 乳 大豆

●本品製造工場では、卵、落花生を  
含む製品を生産しています。

『絹艶』ラインナップ

食べきりサイズ



絹艶 (3)

トーストに



絹艶 (4)



絹艶 (5)



絹艶 (6)

サンドイッチに



絹艶 (8)

## 「シフォンブレッド」シリーズ 新発売！

7月1日 新発売



シフォンブレッド (6)



シフォンロール (5)



シフォンロールココア (5)

今年4月、ふんわり甘く、パンの耳までやさしい口どけの新食パン「シフォンブレッド」を発売しました。

7月からは食パンに加え、ロールパンも新登場！さらに組み合わせのバリエーションが広がります。

朝食を始め、毎日の様々な食シーンを彩る、新しいおいしさをぜひお楽しみ下さい。

## 「ラブラブサンド」シリーズ 好評発売中！

「ラブラブサンド」は、バラエティ豊かなフィリングを、しっとりとやわらかな食パン生地で包み込んだ大ロングセラー商品です！

定番のチョコレート・ピーナツや、ツナやタマゴのほか、季節に応じて入れ替わる味のバリエーションをお楽しみください！

### 「ラブラブサンド」シリーズ



チョコレート



ピーナツ



ジューシー  
ツナ



ジューシー  
タマゴ

## レラカムイ北海道&コンサドーレ札幌を 応援しています！

当社経営理念である「北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長」をめざすべく、北海道のスポーツ文化の振興と地域活性化に寄与することを目的として、2008年から北海道のプロバスケットボールチーム“レラカムイ北海道”とスポンサー契約を締結し、今年4月からは札幌を拠点とするプロサッカーチーム“コンサドーレ札幌”のチームスポンサーとなりました。

今年6月には、コンサドーレ札幌とのタイアップ製品も発売しました。ぜひ一度ご賞味ください！



ジャム&チョコパン



ベーコンチーズマヨデニッシュ

より詳しい新商品情報は当社ホームページよりご覧頂けます  
<http://www.nichiryopan.co.jp/>

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 3月31日  
そのほか臨時に必要な場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人  
兼  
特別口座管理機関  
みずほ信託銀行株式会社  
(東京都中央区八重洲1丁目2番1号)

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先及び 電話お問合せ先	<b>株主様自身が口座を開設されている</b>  <b>各証券会社へお問合せ下さい</b>	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 住所 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 電話番号 <b>0120-288-324</b> (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意		特別口座では、単元未満の買取以外の株式売買を行うことができません。株式売買を行う場合は、証券会社へ口座を開設する必要があります。また、株券電子化前に名義書換を失念して、お手元に他人名義の株券がある場合は至急上記の電話番号へお問合せ下さい。

公告方法 電子公告  
当社ホームページに掲載 (アドレス) <http://www.nichiryu-pan.co.jp/ir/koukoku.html>  
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、北海道新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 札幌証券取引所 (証券コード: 2218)

株主優待 毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された1単元(1,000株)以上を保有の株主様、1記名に対して、販売価格2,000円相当の当社製品をお送りいたします。

(注意事項)

\*本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。

おいしく、北海道らしく。

